

日夜取締ノ任ニ當ツテキル警察官ノ首腦者客位ニハ速ニ極務ノ中ニ其ノ概要ヲ知ツテキテ戦ク必要アリト信ジ今左ニ要記スルコトニシタ。

秘濟結社日本共產黨ハ幾ノ三・一五並ニ四・一六事件等ノ一齊檢舉ト其ノ後ノ嚴密ヲ取締ノ結果、其ノ組織ハ殆ンド潰滅ノ感ヲアツタガ當時僅ニ檢舉ヲ免レタル日本共產青年同盟中央委員佐野博ハ殘存黨員出中清玄（當時東京地方委員）、前納壽四郎（當時東京全國労働組合フラクシオン）等ト連絡ガ恢復シ諸種ノ情報ヲ綜合シテ黨中央部ガ潰滅シタ事實ガ確實トナルヲ出中（委員長）、佐野、前納（委員）ノ三名ニ依ツテ急遽暫定の中央委員會ヲ構成シ、當時ノ殘存組織ヲアツタ（一）黨東京地方及關東川地方ノ一部、（二）共青中央部及地方組織、（三）無產者新聞、等ニ結集スル優秀分子並ニ在黨東洋勤勞者共產大學ニ在學中又ハ卒業後尙滞在中ノモノニシテ「コミンテルン」ヨリ黨再建ノ使命ヲ帶ビテ歸還シタ尖銳分子等ヲ糾合シテ黨ノ再建ヲ企圖シ、昭和四年

六月中旬頃埼玉縣南埼玉郡葛瀬町ニ於ケル第一回中央委員會ニ於テ、

- 組織部長 出中 部員 佐野
- 煽動宣傳部長 佐野
- 赤旗編輯部主任 佐野 部員 出中
- 組合部長 前納
- 技術局長 岡中
- 共青係 佐野

等ニ各分擔部門ヲ定メテ其ノ陣容ヲ整ヘ黨ノ再建強化ニ狂奔シテキタガ、東京地方ニ於テハ中央部ニ對スル追求ガ急激チアツタ、メ、全年八月初旬以來中央部ヲ千葉縣下總子港附近海水浴場ニ移動セシメ、其後ハ季節ニ應ジテ静岡、山梨、長野縣下ノ海洋、温泉地帯等ヲ轉々移動シツツ幾ノ再度ノ總檢舉ニヨツテ擧取シタル組織上、技術上ノ凡ニル欠陥ヲ清算除去シテ最モ執拗深刻ナル地下組織ニヨツテ日本労働組合全國協議會、全國同盟幹部反對派其ノ他ノ凡ニル革命的分子ヲ糾合